

タイトル 『正しい海賊の作り方』〜アダムの国のアリスたち〜

作・坂本鈴

登場人物 男性5名・女性3名

ララ・アリス1

リリ・アリス2

ママ・女王

キール・トランプ1・男1

ラム・トランプ2・男2

サン・トランプ3・男3

コリン・トランプ4・男4

チュラ・トランプ5・男5

行進してくるトランプたち。そこに現れるは女王。
手には真つ赤なバラの花。

女王 白いバラを赤く塗ったふとどきモノはだあれ。

行進の中現れる、一人のトランプとアリス。

女王 首をオハネ！！

トランプが首をはねられるというその瞬間、暗転。
闇の中にふと浮かび上がる、アリス。

アリス と、この物語のこのシーンであたしはいつも同じ事を思う。五十二枚のトランプカード、一枚でも首をはねてしまったらトランプゲームができなくなってしまうじゃないか。

女王 何をいつているんだい。今がゲームの最中だろう。 持てるカードは限られてるんだ。要らないカードはぎってしまったほうがいいのさ。

アリス 要らないカード？

ひらひらと舞うトランプたち。

女王 52枚のトランプカード。全部必要なわけじゃない。

アリス だって、全部違うのに

女王 全部違うから全部必要だともいっつかい。ゲームはね、優劣があるからできるのさ。

アリス 優劣

女王 そう。ほら、1から13までの数字の中に。

アリス 赤と黒の記号の中に。
女王 優れたカードと劣ったカードが
アリス 強いカードと弱いカードが
女王 弱いカードはいらなすぎる。強いカードが欲しいだろ。
アリス 欲しいカードと要らないカード
女王 要らないカードは切ってしまったほうがいいのさ。クビを、クビをはねておしま
い。

アリス、振り返るともうひとりアリス(2)がいる。
アリスがアリス(2)に首を絞められる。

女王 要らないカードのクビをおはね
ト1 要らないカードの
ト2 クビをはねる
ト3 優れたカード
ト4 劣ったカード
ト5 強いカード
ト1 弱いカード
ト2 欲しいカード
ト3 要らないカード
ト4 要らないカードの
ト5 クビをはねる

やめて、やめて…やめなさい！

と、ネクタイを締めてる女の子と絞められてる女の子
になっっている。
アリス(1)がララ、アリス(2)がリリに変わる。
そこは船の上。

ララさん？
え？
リリ しません。あの、ネクタイまがってたから。
ララ いいの。自分でやるわ。
コリン そうですか。
リリン ちよつと
あ、はあーい。

コリン、リリを誘導して、奥のほうへいく。

ママ ララ、どうしたの。出港するわよ。
ママ ママ。
ママ あら、ネクタイが曲がってる。
ママ だめ。
ママ え。ああ、男達に直させるのね。
ママ え、いや、
ママ たくましい。そろそろ船を下りてもいい頃かしら。

下りてもって？
明け渡してもいいってことよ。
なんのこと。

ママがこの船男は奴隷を手に入れたのはちょうどアンタくらいの年だった。
船長をたぶらかして、船が手に入ったら無残にポイすて。
いまやママがその船長。

かっこいい。
ほしいものは、奪うしかないのよ。
わーい、非道。

道にあらずと書いて非道。道じゃないところをかきわけてこそ、わが道が見つかる
というものよ。ママはね、わが道をいくのよ。

そっか。
ララもそんなたくましい女になるのよ。
はあい。ねえママ。

なあに？
男の人って下僕なの？
当然よ。

そっか。
女というバラを輝かせるためのカスミソウのようなもの。
そっか。
でもたまに、カスミソウのような女もいるの、たとえば、あれ。

ママ、リリを指す。

マリマリラ
マリマリラ

あれ？
よびました？
いいえ。全然。
そっか。

器量が悪くて年中汚れた服をきてるあの生まれながらの召使のような女。何より
モテナイ。もてようとしな。ああああ、信じられない。もてようとしな女なん
て女としてどうかしてるわ。

まあそっか。
女はもてて何ぼのもんよ。
そっか。

そっか。男の前で美しく咲き誇る、それが、女！
はい。
美しさで目を奪い、蜜の香りで身体を引き寄せ、見えないとげで
ハートを射抜く！

通りかかったラム、射抜かれる

ラム
う。

恋の痛みにもたえながら、男、去る。

ママ
ママ
あら上手。
えへへ。

マ 手馴れてるのね。

マ えへ。

マ そうしてきたのね。

マ え？

マ おんなはそうでないかね。

マ え？

マ 知ってたの。

マ しらないとでもおもってたの。

マ だって、

マ だって？

マ ほしいものは奪えって、

マ そう。そうよ。ほしいものは奪えと言つのが私の教え。アンタは私の目を盗んで、

マ 坊やたちの視線を盗んでいった。ひとつつつ盗んでいっていまや皆アンタにくぎづ

マ け。

マ ママ。

マ ママ、いちぬけた。

マ え。

マ わたしはあんたに船の支配を奪われた。見事だわ。言つことなしたわ。パーフェ

マ クト！ 奪われたものに未練を残すのは愚か者のすること。私は奪われたものには

マ すがらない主義。つまり

マ つまり？

マ この船は今日からアンタのものよー！！

マ は？ちよつと、ちよつとー！！

マ

マ

マ

マ

マ

マ

マ

マ えー、このたび、私、この船を降りることにいたしました。

騒ぐ船員達。

サ どうして、どうしてですが、ママ

マ 私ももう年だもの。そろそろ引退しようと思つて。

マ まだまだママは現役ですよ

マ ありがとう。でももう、決めたの。この船は今日からママに譲ります。

マ いや、そんな勝手に

マ ママはどうするんですか

マ 船を下りて、ひっそりと陸で暮らすわ。

マ またまたあ、新しい男でもできたんじゃないんですか

マ ぎくり。

マ え、ママ男できたの？

マ そういうわけじゃないんだけど。

マ あ、そういうわけなのね。

マ ママ、ロマンが大好き。いつでも夢見がちな女の子。でも現実も押し寄せ。そ

マ んな時にはじめて現実に恋に落ちた。

マ つまり？

キ

ル

ラ　　金だな
マ　　この国の王子、ゲットです。

ラム　王子？

ラム　ゲット？

サム　いつのまに

サム　出会いはいつも必然。

サム　合コン、お見合い、舞踏会。

サム　王子なんて、ガラスの靴でも置いてくれば一発よ！

サム　またそんな見え透いた手を

サム　それで船は私にゆずるといふ名目で廃棄処分ってわけですね。

サム　何いつてるの。それはママの宝物。

サム　さみしいです。

サム　あんたたちにはフラがいるでしょ。

サム　あたしは引退。ほら、宴の用意をしてちょうだい。

サム　ママの追いつき会ね。

サム　そして新しい船長の歓迎パーティー！

サム　今夜はあたしの奢りよ。

ラ　　宴になっていく。

ラ　　ママ、ラムにキャプテンの帽子をかぶせて去っていく。

ラ　　ママと入れ替わっているラム。

ラ　　いつの間にか、ママの帽子が私の帽子に。いつの間にか、ママの船が私の船に。いつの間にか、ママの男が私の男に。いつの間にか波がきて、私の船が海に出る。

男達　キャプテン、出港ですよ。
ラ　　帆を上げてー！

船、出港する。

続く